

拠点構築に関する論点

1. 拠点の機能

拠点の機能としては、

- ・ 情報発信
- ・ 人材育成
- ・ 産業創出

等が考えられる。

(参考) 政府の関連文書 (該当部分要約)

- ・ クールジャパン戦略官民協働イニシアティブ (H27. 6. 17 クールジャパン戦略推進会議とりまとめ)
クールジャパンの各分野において、世界中から高度人材を呼び寄せ、我が国の人材育成を促すとともに、情報の集積・発信機能を有する拠点の構築を目指して民間で取組を行うことを前提に、政府がこれを支援する。
- ・ 知的財産推進計画 2016 (H28. 5. 9 知的財産戦略本部決定)、
日本再興戦略 2016 (素案) (H28. 5. 19 産業競争力会議)
アニメなどのポップカルチャーから文化芸術等までの幅広い我が国の魅力を効果的に発信するとともに、文化産業を含めた新たなクールジャパン関連産業を創出する観点から、羽田空港跡地等におけるクールジャパン拠点の構築を目指す取組を後押しするとともに、こうした拠点間のネットワーク化に取り組む。このため、拠点に必要な機能の明確化、拠点間のネットワーク構築等効果的な情報発信が可能となる方策を検討する。

2. 情報発信機能 (前回の議論の中心)

第 1 回会合 (5 月 12 日) では、拠点における情報発信に関して、以下の意見があった。

(1) 拠点構築にあたっての視点

○点から面に広がる情報発信

- ・ 日本各地に点在する拠点が、点ではなく、面として発信力を持つようにする。

○情報の受け手から共感を得られる情報発信

- ・ 情報の受け手がイニシアティブを持つ現代において、情報を効果的に拡散させるために、情報の受け手が、共感・共振・共創などの価値を見出せる情報を発信する。

○驚き (非日常感、臨場感) の提供

- ・ 拠点の来訪者に対して 驚き (非日常感や臨場感) を提供する。

○地域との関係性の確認

- ・ 拠点の持つ魅力を最大化するため、地域の特性や人々の活動を活かす。

(2) 拠点で発信すべき情報

○インデックス情報・コンシェルジュ機能の構築

- ・全国各地に点在する拠点が面として発信力を持てるようにするためには、クールジャパンに関する情報を集めたインデックスを構築し、各拠点とネットワーク化することが重要。
- ・インデックスの中には、有名な情報だけでなく、一般的には入手困難なものも追加できるとよい（例：有名建築家の知名度のある施設だけでなく、個人邸宅等に関する情報）。
- ・都心に物理的拠点（があった方がよいが）を作るのは大変なので、最低限、情報集積のポータルサイトを作れるのがよいのではないかと。
- ・コンシェルジュ機能を持った問い合わせ窓口を設置し、海外メディア向けの情報も発信すべき（※神社などの撮影許可を得たいなど、多様なニーズに対応する窓口）。

○興味関心を同じくする人々の集団（トライブ）ごとのストーリー付け

- ・それぞれの分野に興味関心を持つ人々に対して、効果的に情報発信を行うために、トライブごとに一連のテーマやストーリーで情報発信を行うことが重要（例：村上隆に興味がある人に対し、琳派や浮世絵に関する情報を提供）。
- ・トライブごとにストーリーを作るため、各分野の専門家や日本在住の外国人によるキュレーションを行うべき。

○臨場感（ライブ感）の必要性

- ・拠点には、訪問者に対して驚きを与えるもの（巨大な建築等）が集積していることが重要。
 - 例えば、羽田地区にアニメの世界観を等身大で再現できると面白い。
- ・海外から美術を見に来る人に対して、制作現場をかつこよく見せることにより、日本のアートの魅力を効果的に発信することが可能。
 - 例えば、羽田地区をアーティストに開放して、自由に活動させることが考えられる。
- ・初来日する外国人旅行者にとって、365日いつでも見られる臨場感あるイベント（※現在は歌舞伎しかない）があることは重要。
- ・食とも組み合わせるフードコートを設置するとともに、その周囲に台湾の夜市のようなものがあると、訪問者に対して驚きを提供することが可能。
 - 例えば、羽田地区については、近隣の大田市場を開放して行うのがよい。

○地域に結び付いた情報の必要性

- ・地域に結び付いた情報（産業や歴史）をストーリーとして発信することが重要。
 - 例えば、羽田地区のプロジェクトでは、大田区の産業や歴史等と、拠点において発信する情報（現代アートやアニメ等）を結びつけるストーリーを作るとよい。

(3)その他

○外国語表記の推進

- ・ 地方美術館を中心に、美術品やプログラムの外国語表記を進めることが必要。

○拠点間での連携

- ・ 拠点間での連携を可能にするために、例えば、羽田を訪れた人が、所沢にも行きたくなるようなストーリーを考えることが必要。

3. 人材育成・産業創出機能（議論されていない論点）

拠点に人材育成・産業創出機能が付加されることにより、情報発信機能との相乗効果が期待できるのではないかと。例えば、

- ・ 特定分野の専門家が集まることによって拠点のブランド化に資する、
- ・ 発信すべき情報が、新たに生まれ続ける環境作りに資する

等の効果が考えられるのではないかと。